

2018年12月

関係各位

株式会社わだまんサイエンス

本社：〒604-0845 京都市中京区烏丸御池上る二条殿町546

TEL075-222-7318



平素より胡麻若葉をご利用頂きありがとうございます。

胡麻若葉中のアクテオシド値については、現在規格値を設定しておりませんが、生葉、粉末について生産年度毎に測定しておりますので、参考値としてご報告させていただきます。

※数値はアクテオシド含有量(%; g/100g)・乾燥重量として算出しております。

1：分析結果

- サンプル：2016年度栽培鹿児島生葉 $1.31 \pm 0.053 \%$ (w/w) n=3
- サンプル：2016年度栽培鹿児島洗浄後生葉 $2.26 \pm 0.005 \%$ (w/w) n=3
- サンプル：2016年度栽培鹿児島蒸煮工程ありチップ品 $1.22 \pm 0.021 \%$ (w/w) n=3
- 胡麻若葉粉末鹿児島産 ロット 251127 (ACE 活性阻害テスト使用済み)
 $2.32 \pm 0.008 \%$ (w/w) n=3

2：分析機関

日本大学生物資源科学部 食品分析学研究室にご協力頂きました。

3：分析日

2016年9月測定

4：サンプルの前処理及び分析条件

1) 分析前処理

試料 25 mg に 60%MeOH 1 mL を加え、超音波抽出 (15min)、遠心分離 (3,000 rpm, 15 min) 行い、上清回収後、再度同様の操作を行い、抽出を 2 回行った。抽出試料は HPLC 分析に供した。

2) HPLC 条件

カラムとして、Waters Xbridge C18 (5 μ m, 4.6×150mm Waters 社製) を用い、カラム温度 40°C、検出波長は 340 nm、流速 0.8 mL/min、注入量 10 μ L、溶離液 A (0.1%ギ酸)；溶離液 B (0.1%ギ酸含有アセトニトリル) を用い、グラジエント条件は、0-15 min, 5-35%溶離液 B；15-40 min, 35-100%溶離液 B；40.01 min, 5%溶離液 B とした。

以上